

2010年2月10日

アステラス製薬旧東京研究センターにおける土壌調査結果に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁）は、当社旧東京研究センター（東京都板橋区小豆沢）において土壌調査を行った結果、土壌等処理基準を超えるトリクロロエチレン及びその他の特定有害物質が検出されましたので、お知らせいたします。なお、今後につきましては、東京都、板橋区と協議・検討を行い適切な土壌・地下水浄化対策を実施していく考えです。

1.当該土地の概要

名称：旧東京研究センター

住所：東地区 東京都板橋区小豆沢1丁目1番地8

西地区 東京都板橋区小豆沢1丁目2番地2

敷地面積：16,746.99 m²

*なお、東京研究センターは、1947年に操業を開始し、主に研究施設・製薬工場として利用してきましたが、2010年1月に閉鎖しました。

2.土壌調査結果について

当社は、旧東京研究センター閉鎖に伴い、土壌汚染対策法及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）に則り土壌調査を実施しました。調査内容については、東京都、板橋区と協議を重ねた上実施しており、過去に使用履歴が一切無い特定有害物質についても自主的に調査を実施しました。

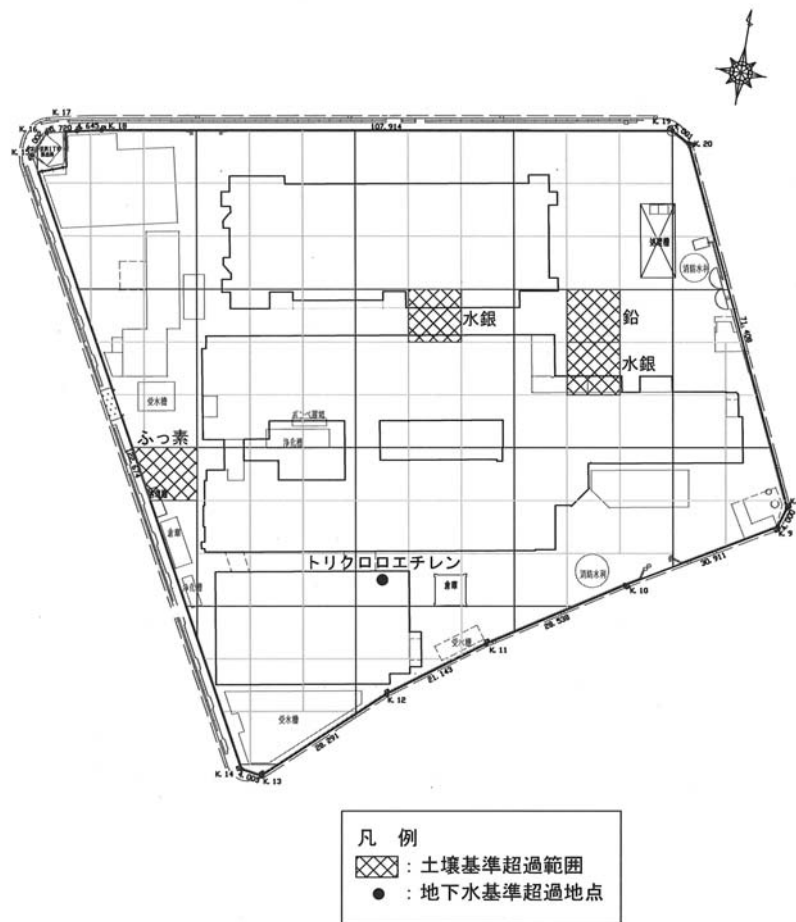
調査の結果、東地区においては特定有害物質は検出されませんでした。西地区において水銀、鉛、ふっ素（以上、土壌）、トリクロロエチレン（地下水）が検出されました。

	基準超過物質	最高濃度	基準値	最大汚染倍数（倍）
土壌	総水銀 ^{※1} （溶出量）	0.0034（mg/L）	0.0005（mg/L）	6.8
	総水銀（含有量）	180（mg/kg）	15（mg/kg）	12.0
	鉛（含有量）	180（mg/kg）	150（mg/kg）	1.2
	ふっ素（溶出量）	1.3（mg/L）	0.8（mg/L）	1.6
地下水	トリクロロエチレン	0.14（mg/L）	0.03（mg/L）	4.7

※1 総水銀：アルキル水銀は不検出

注) 溶出量基準：体重60kgの人が、1日2Lの水を毎日70年間飲み続けた時に、10万人に1人が癌を発症するリスクから算定されたものです。

含有量基準：汚染土壌の上に70年居住し、その間に汚染土壌を直接摂食し続ける場合を想定して健康リスク評価して設定されました。



旧東京研究センター西地区建物配置及び土壌・地下水基準超過図

3.今後の対応

今回の調査で確認された汚染については、東京都、板橋区と協議・検討を重ね適切な土壌・地下水浄化対策を実施していく考えです。

近隣の皆様方には、ご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。当社は、全社をあげて土壌環境問題に取り組んでいく考えですので、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。